



No.75

令和6年4月15日

発行 蘇原北部地区
社会福祉協議会

人生の「下り坂」を楽しみましょう

蘇原北部地区社会福祉協議会 会長 土屋 一雄



蘇原北自治会連合会の皆様には、日頃から社会福祉協議会の活動に格別のご支援をいただき、心からお礼を申し上げます。

また、地域において、社会福祉活動に携わる各種団体や民生児童委員の皆様ほか多くの関係各位に対し、日頃のご苦勞にあらためて深く敬意を表し感謝を申し上げます。

昨秋、「地域社会を取り巻く環境が一段と厳しさを増している」との新聞記事を目にしました。

そこでは、「今後の状況次第で、支援の困難な高齢者などが、自宅で生活を続けることが難しくなる例が増える可能性がある」という衝撃的な見通しが語られており、複数年に亘ったコロナ禍に起因する地域活動自粛がもたらした負の面の大きさに加えて、さらに不安感が増幅するような思いにとらわれたことを思い出します。

かつてのヒット曲の歌詞に、「人はみなひとりでは生きてゆけないものだから」という部分があります。

「超高齢社会」、「独居老人」、「8050問題」、こうした言葉に出会うとき、私はこの「ふれあい」という歌を思い浮かべます。

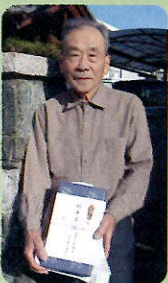
「なにげない心のふれあいが 幸せをつれてくる」との歌詞もそうですが、昨今の世情を思う時、サラッと聞き流してしまいそうなこの歌が心に沁みてきます。

人生は、「下り坂」になってからが良い・・・とある随筆家が書いていました。人はみな、額に汗して人生の「上り坂」に挑み、それぞれの高みに到達したあとは、ゆるゆるとした「下り坂」を楽しむ権利があるとその人は言います。

日々の暮らしには、ともすると得体のしれない不安感がつきまとうことがあるものですが、そうしたなかでも、私たちの暮らす地域・町は、だれもがまわりの人たちとの温かいふれあいの中で、おだやかに人生の下り坂を楽しめる場所であってほしいと思う昨今です。

どうか皆様には、「安心して心豊かに暮らし続けることができるまち」づくりを理念に活動する蘇原北部地区社協に、今後とも一層のご理解とご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

卒寿を迎えられた皆さん



- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 藤井 美典 | 木村 嘉代子 | 渡邊 幸子 | 渡邊 直美 |
| 笠井 勝明 | 山田 和子 | 土屋 美津子 | 上西 綾 |
| 丸山 ノシ | 大塚 民子 | 高坂 コヨシ | 川島 ふみ子 |
| 松本 隆三 | 山田 みさ子 | 坂井 茂夫 | 小林 好子 |
| 小林 澄子 | 浅野 榮 | 林 みつゑ | 和智 義和 |
| 小林 美代司 | 山田 三保子 | 遠藤 貢 | 遠藤 薫 |
| 永田 はな子 | 奥田 春子 | 横山 文子 | 越本 澄雄 |
| 角 智栄子 | 廣瀬 淳喜 | 内田 正光 | 田中 邦男 |
| 三浦 トキ子 | 加藤 アキ工 | 小林 多賀江 | 柴田 善雄 |
| 水野 惣二 | 和田 哲也 | 尾藤 種子 | 工藤 ナリ |
| 堀江 積子 | 清水 ゆみ子 | 水野 稔 | 手塚 倍子 |
| 大山 佳代子 | 坂井 興喜 | | |

地域福祉活動

高齢者ふれあい交流事業 (9月2日)

蘇原持田町公民館にて、持田町・飛鳥町地区の高齢者41名を招き、落語・漫談を楽しんでいただきました。

その後昼食を取っていただき解散しました。

今年は非常に暑く、エアコン設備の無い会場でしたので次回開催する会場はエアコン設備の有無で日程調整が必要と感じました。



福祉座談会 (9月9日)

第5期地域福祉活動計画立案に向けて地域コミュニティ会議を開催しました。

参加者を7グループに分け、①「地域の良いところ」「地域課題」②課題を解決するために、自分や地域で取り組む事について意見交換していただき取りまとめ、各グループ代表に発表していただきました。



福祉の人材発掘事業 (2月17日)

岐阜県内・各務原市内においても特殊詐欺が急増しております。

そこで、岐阜県消費生活相談センターの相談員 加藤里香 様を講師に招き、「特殊詐欺防止の為に地域住民の間でできる事を学び、安心安全な地域づくり」の研修を行いました。



2023年度 年間活動報告

年月	日	活動内容
2023年 4月	1日(土)	地区だよりNO73発行
	22日(土)	第1回理事会
	28日(金)	自治会連合会長・地区社協会長合同会議
5月	13日(土)	蘇原北部地区社協総会 (参加者: 68名)
	23日(火)	地区社協会長・福祉推進員研修会
	27日(土)	近隣ケアグループ全体研修会
6月	3日(土)	会費趣旨説明会
	10日(土)	近隣ケア研修会 (参加者: 63名)
7月	29日(土)	第2回理事会
9月	2日(土)	高齢者ふれあい交流事業 (参加者: 52名)
	9日(土)	福祉座談会 (参加者: 46名)
	17日(日)	友愛訪問(寝たきり高齢者) (対象者 29名) 蘇1小校区市民ふれあい「イン」
10月	1日(土)	地区だよりNO74発行
	31日(水)	県・社会福祉大会
11月	6日(月)	赤い羽根共同募金事業(稲田園) (参加者: 118名)
	11日(土)	ふれあい広場(地域子育て支援事業)
	15日(水)	第57回各務原市社会福祉大会
	25日(土)	第3回理事会
12月		卒寿記念品配布 (対象者46名)
2024年 2月	3日(土)	地域子育て支援事業 (参加者: 114名)
	15日(水)	地区社協会長・福祉推進員合同会議
	17日(土)	福祉の人材発掘事業 (参加者: 34名)
3月	24日(土)	年度末中間監査・第4回理事会
	7日(木)	蘇原北部自治会連合会・地区社協合同年度末総会
	24日(日)	ボランティアハウス監査及び地区社協監査横断旗の点検

赤い羽根共同募金事業 (11月6日)

地域内の「65歳以上のおひとり暮らし、70歳以上夫婦のみの世帯」の方を対象に稲田園へ招待し、茂益亭蝶代さんに落語と笑いヨガを行っていただきました。

長年に渡り、赤い羽根共同募金事業にて利用させていただきました「稲田園」が老朽化のため令和6年3月31日をもちまして閉園となりました。

長い間活用させていただきありがとうございました。



2023年度会員募集・会費納入実績表

自治会名	会員数	会費額
宮代町	75	37,500
大島町東	122	61,000
大島町西	120	60,000
大島中	133	66,500
島崎町	53	26,500
寺島町	127	63,500
青雲町	176	88,000
伊吹町	88	44,000
吉野町	240	120,000
古市場東	107	53,500
古市場西	93	46,500
飛鳥町	45	22,500
持田町	110	55,000
東山(東)	78	39,000
東山(西)	52	26,000
清住町第1	30	15,000
清住町第2	85	42,500
清住町第3	118	59,000
坂井	102	51,000
東島町	292	146,000
熊田町	215	107,500
リバーサイド熊田	58	29,000
野口西	118	59,000
野口東	122	61,000
野口南	141	70,500
新栄町	147	73,500
東栄町	112	56,000
東栄町南	218	109,000
中央町	245	122,500
申子町北	206	103,000
申子町南	100	50,000
花園町	357	178,500
川協団地	95	47,500
合計	4,380	2,190,000
地区社協交付金		876,000

2023年度蘇原北部地区社会福祉協議会収支中間決算書

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額
1.交付金	840,000	876,000
2.メニュー事業助成金	1,226,400	1,120,031
1) ボランティアハウス事業	680,000	699,000
2) ふれあい交流事業	130,000	92,231
3) 近隣ケアグループ研修会	30,000	30,000
4) 福祉座談会	20,000	9,200
5) 福祉の人材育成事業	10,000	0
6) ささえあい活動支援事業	50,000	0
7) 機関紙の発行	176,400	176,400
8) 赤い羽根共同募金事業	100,000	100,000
9) 会費趣旨説明会	30,000	13,200
3.地区社協運営費助成金	30,000	30,000
4.雑収入	500	9
5.前年度繰越金	2,264,796	2,264,796
収入合計	4,361,696	4,290,836

支出の部

科 目	予算額	決算額
1.事務費	405,000	22,987
1) 会議費	260,000	9,642
2) 賃借料	15,000	0
3) 通信運搬費	30,000	2,814
4) 消耗品費等	100,000	10,531
2.メニュー事業	1,840,000	1,469,874
1) ボランティアハウス事業	680,000	699,000
2) ふれあい交流事業	300,000	130,080
3) 近隣ケアグループ研修会	50,000	9,642
4) 福祉座談会	50,000	24,127
5) 福祉の人材発掘事業	60,000	0
6) ささえあい活動支援事業	50,000	0
7) 機関紙発行	300,000	291,060
8) 赤い羽根共同募金事業	250,000	261,771
9) 会費趣旨説明会	100,000	54,194
3.その他の事業費	330,000	199,796
1) 生きがいづくり事業	200,000	148,176
2) 生活環境づくり事業	60,000	0
3) 友愛訪問事業	70,000	51,620
4.助成金支出	286,000	286,000
1) 市民運動会助成金	214,000	214,000
2) 青少年育成市民会議助成金	32,000	32,000
3) その他の助成金	10,000	10,000
4) 地区社協運営費助成金	30,000	30,000
5.予備費	1,500,696	0
支出合計	4,361,696	1,978,657

社会福祉協議会の会費で作られています。



子育て支援事業(2月3日)

「人形劇とお菓子の祭り」と題して、幼児と小学生低学年を対象(親子114名参加)に蘇原コミュニティセンター集会所にて開催しました。

市内で活動されている「いちご座」の人形劇を観覧した後、ボーリング、お菓子釣り、スリッパ飛ばしゲームで楽しんでいただき沢山のお菓子を持ち帰っていただきました。





第35回民生児童委員コーナー

—広げよう地域に根ざした思いやり—

私たち民生児童委員は、生活上の問題、福祉関連の問題、子育てに関する問題等さまざまな問題や悩み事を住民の立場になって相談を受け、行政等関連機関への橋渡しを行います。自治会、地区社協、近隣グループの皆さんと連携、共働して見守り活動を行い安心、安全な地域社会作りをめざしております。

〈民生児童委員はあなたの身近な相談相手です〉

健康寿命 が注目されています。

健康寿命とは、“健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる”ことを言います。

これまでは平均寿命という言葉がよく使われていましたが、最近では『生活の質を考慮すべきである』との認識の高まりから健康寿命が注目されるようになりました。

令和元年(2019年)、厚生労働省の調査によれば

男性	平均寿命	81.41才	健康寿命	72.68才	この差	8.73才
女性	平均寿命	87.45才	健康寿命	75.38才	この差	12.07才

平均寿命から健康寿命を引いた数字が入院や介護を必要とし、自立して元気に生活することができなくなる状態(フレイル状態)となります。いつまでも元気で、子や孫に迷惑をかけたくないという気持ちは誰しもがお持ちでしょう。ではどうしたら健康寿命を延ばすことができるでしょうか。それには以下のことに注意した生活を心がけましょう。

- | | |
|-------------|------------------------|
| ①適切な食生活 | 栄養バランスがとれた三度の食事はきっちりと。 |
| ②適度な運動習慣 | 軽スポーツやウォーキングを心掛けて。 |
| ③十分な睡眠 | 65才の人の平均睡眠時間は6時間。 |
| ④節酒、禁煙に取り組む | 酒はほどほどに、タバコは止めましょう。 |
| ⑤歯や口腔内の健康維持 | 丈夫な歯で、しっかり噛んで。 |

など、毎日の生活をほんの少し改善するだけで実践できます。

〈蘇原北部地区の民生児童委員・主任児童委員の紹介〉

氏名	担当地区	電話番号	氏名	担当地区	電話番号
小野木松二	宮代町 大島町東	383-2656	河合 厚雄	中央町	383-6701
横山 弘	大島町西 大島町中	383-3891	廣井 妙子	熊田町 リバーサイド熊田	382-5738
金武 祐司	申子町北 申子町南	382-7034	赤座 玲子	野口町東	382-7002
水野 智子	島崎町 寺島町	382-7327	松野 妙子	野口町南	389-0384
佐脇 仁美	青雲町	382-8267	小川 清	野口町西	382-5676
金武 直行	伊吹町 吉野町	383-2921	小椋リツ子	新栄町	383-9102
仲野 和幸	古市場町東 古市場町西	383-3387	中川みのり	東山	389-6930
倉田 宣幸	川協団地	371-0160	加納 和正	花園町	382-8018
平田 一美	飛鳥町 持田町	389-4253	横濱由美子	東栄町 東栄町南	375-4078
住谷 直子	清住町第一 清住町第二	383-7095	稲葉八重子	坂井町	382-6877
小野 愛登	清住町第三	371-3216	山田 真紀	主任児童委員・中央小校区	389-2600
太田 弘幸	東島町	382-0313	水野美奈子	主任児童委員・蘇原第一小校区	371-7995